

2019年4月1日

---

## 2019年度入社式 社長挨拶

---

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二)は、2019年4月1日(月)に入社式を行いました。  
社長挨拶の主旨について、別紙の通りお知らせ致します。

2019年4月1日新入社員

第一生命・第一フロンティア生命・ネオファースト生命	807名
第一生命情報システム	48名
第一生命チャレンジド	13名
計	868名

## “失敗を恐れず・勇気を持って”チャレンジする1年に

新入社員の皆さん、ご入社おめでとうございます。皆さんを心から歓迎いたします。

1年前、第一生命グループは、新たな3か年の中期経営計画「CONNECT 2020」の公表とともに、新たなステージへの挑戦に踏み出しました。中期経営計画とは、「将来ありたい姿」の実現に向けた計画ですが、第一生命グループは、中期経営計画「CONNECT 2020」を通じて「QOL(Quality of Life)向上への貢献」の実現に挑戦しています。本日は、新たな仲間を迎えた 2019 年度の期始の挨拶として、第一生命グループが、なぜ「QOL向上への貢献」に挑戦しているのか、挑戦するために何が必要なのかを、あらためて共有したいと思います。

この「QOLの向上」とは、お客さま一人ひとりが、その人が望む人生や生き方を実現すること、よりその人らしい生活を送ることを意味します。いま我々が進めている各事業の取組みは、いずれもこの「人々のQOL向上への貢献」に向けた挑戦です。「一生涯のパートナー」として、お客さま一人ひとりがご自身のQOL向上のために頑張ることを、しっかりと支えていくことが、私たち第一生命グループの使命であると考えています。

世の中には、さまざまな人がいて、その数だけさまざまな生き方があり、そうした一人ひとりが大切にするQOL、生きる喜びを第一生命グループが支えていきたい。お客さまがいる限り、私たちの挑戦には終わりがありません。お客さまの抱える課題、不安は変化しています。その時代におけるお客さまの課題や不安を解決するために、私たち第一生命グループが「安心の最高峰」をお届けする。それが私たちの存在意義だと考えています。

さて、人は目の前にやりたいことが沢山あると、重要だけど急ぎではないことを、ついつい先延ばしにしてしまいます。人生には締め切りがありません。生きていく上で大切なことは沢山あります。例えば、健康のために運動する、家族との時間を大切にすること、キャリアのために自己啓発をするなど、今日から社会人としての第一歩を踏み出された皆さんには実現したい夢が一杯あると思います。その夢に向かって着実に歩んでいただきたいと願っています。

皆さんは、しばらくすると各所属に配属され、いろいろな仕事を任せられます。しばらくは目の前のことをこなすことに精一杯になるかもしれませんが、皆さんには、時には少し立ち止まり、本当に重要なことを先延ばししていないかを考える習慣をつけて欲しいと思います。

第一生命グループは、皆さんが夢に向かって安心して挑戦できる環境を作っていきます。この時代はCtoBの時代と言われています。C:ConsumerからB:Businessへ、消費者が企業の在り方を決める時代です。つまり、消費者の多様なニーズに応えられない企業は生きていけない時代なのです。人々の価値観やニーズは、どんどん多様化し、家庭や仕事のスタイル、大切にすることも、どんどん多様化しています。そんな今の時代のありようを肌で感じ、最も理解しているのは、他ならぬ皆さんご自身ではないでしょうか。皆さんが、第一生命グループの新しいメンバーとして、グローバルに仲間と「CONNECT」することで、新たな価値が生まれ、それが未来の第一生命グループの挑戦や成長につながっていきます。皆さんには、平成最後の新入社員として、平成と次の新たな時代を「つなぐ」「CONNECT」する架け橋になってもらいたいと期待しています。

「2019 年度は、一人ひとりが “失敗を恐れず・勇気を持って”チャレンジする1年にしたい。」それが、本日皆さんにお伝えしたかった私の思いです。皆さんが、柔軟な発想でそれぞれの所属に新たな風を吹き込み、果敢に挑戦されることを期待しています。